

農 研 速 報

平成 29 年 7 月 10 日発行

茨城県農業総合センター農業研究所

〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402

TEL 029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況（6月27日現在、水戸市）

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策 及び今後の方針	備考
	本年	平年対比				
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ つる伸長期 塊根肥大初期	平年より遅い	生育期間(5月第4半旬～6月第5半旬)の平均気温は平年より0.1℃高く、日照時間は平年比113%、降水量は平年比30%であった(水戸地方気象台観測地。平年値は直近5ヶ年の平均値)。	小雨による欠株 及び生育遅滞 が一部見られる。	特になし。	
	べにはるか つる伸長期・ 塊根肥大初期	—	地上部の生育は、ベニアズマ(黒マルチ栽培)では、主茎長が平年を下回り、つる重も平年より軽かった。タマユタカ(無マルチ栽培)では、いずれもほぼ平年並であった。			
	タマユタカ つる伸長期・ 塊根肥大初期	平年並	地下部の生育は、ベニアズマが1株当たり塊根数、塊根1個重とも平年を下回り、総いも重は平年よりかなり軽い。タマユタカでは、1株当たり塊根数は平年よりやや少ないが、塊根1個重は重く、総いも重は平年並である。 挿苗後の5月第4半旬～6月第5半旬の降水量が平年より少なかったため、地上部・地下部とも生育が平年より遅れている。			

表 生育調査(挿苗後40日、6月27日調査)

品種	主茎長			分枝数			つる重			総いも重			1株当たり塊根数			塊根1個重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	18.1	78 (23.2)	60 (30.3)	4.5	83 (5.4)	79 (5.7)	16.5	63 (26.1)	54 (30.5)	3.3	39 (8.5)	24 (13.9)	2.1	76 (2.8)	61 (3.5)	3.9	51 (7.7)	40 (9.8)
べにはるか	17.0	106 (16.1)	— —	4.4	83 (5.3)	— —	14.4	36 (39.8)	— —	2.8	30 (9.2)	— —	1.7	55 (3.1)	— —	4.1	55 (7.5)	— —
タマユタカ	19.8	117 (16.9)	100 (19.8)	2.7	150 (1.8)	94 (2.9)	7.0	140 (5.0)	95 (7.4)	1.3	260 (0.5)	102 (1.3)	2.0	250 (0.8)	91 (2.2)	1.6	100 (1.6)	121 (1.3)

()内は前年または平年の数値。平年値は平成24年～28年(5ヵ年)のデータの平均値。

塊根は直径3mm以上のものとした。

挿苗日:5月18日(ベニアズマ、べにはるかは黒マルチ栽培、タマユタカは無マルチ栽培)、栽植密度:400株/a(畦間100cm×株間25cm)、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における生育状況 (6月27日撮影)



ベニアズマ

ベにはるか

タマユタカ